

式 辞

例年になく温かな冬が終わり、季節を1カ月先取りした陽気だった3月の末に今季一番の大雪に見舞われ、自然の心変わりに驚かされたことと思います。しかし4月7日の今は寒さも和らぎ、蓼科高校に春の訪れを告げる中庭の桜が咲き始めています。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大により、開催が心配されていましたが令和二年度長野県蓼科高等学校の入学式がここに挙行できましたことは、この上ない喜びであります。今回は大変残念ではありますが、この場にご来場叶いませんでした、両角立科町町長様、大坪PTA会長様、芝間同窓会長様をはじめとするご来賓の皆さまからも、栄えある入学式にお祝いの言葉を頂戴しましたことをここにご披露し、深く感謝申し上げます。

そして、晴れて入学を許可された七十七人の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。みなさんは、本校入学を自ら志し、選抜試験を経て今日から蓼科高等学校の一員となりました。本日の喜びは、みなさんのこれまでの努力の結晶であることは、いうまでもありません。しかし、その陰には、みなさんを慈しみ育ててこられた保護者の皆さま、ご家族、小学校や中学校で教えを受けた先生方の心のこもったお導きのあったことも忘れてはなりません。また、地域の中で、或いは離れたところから、みなさんは気づかなかったかもしれないけれど、見守る人たちがいたということにも思いを致してください。みなさんを桜の花にとえるならば、花を咲かせる樹木全体に当たるのがこれらの人々であったわけです。そのことを念頭に置いて、そしていただいた初心を忘れることなく、みなさんが将来、社会の中で確かな場所を占めることができるよう、一人ひとりの目標に向かって研鑽を積む三年間を本校で過ごされることを心から願っています。

本校は西暦千九百年(明治三十三年)、組合立蓼科実習補修学校として設立され、今年百二十年目となる歴史と伝統ある学校です。初代校長の保科百助先生の教育理念を基本に、普通高校として、一人ひとりの学びを充実したものとするコース制を取り入れ教育活動を行っています。また、地元と連携した「蓼科学」や「地域」、更に公設学習塾である「ポプラアカデミー」を特色として展開しています。このような学びは、立科町と地域社会全体の熱い期待と大きなご支援があってこそのものであります。

みなさん。入学式に際し、心にとどめていただきたいことを三つお伝えします。

一つ目。自分の身体と命を大切にしたいということです。運動部に入ってスポーツで身体を鍛える。帰宅したら短くてもいいので机に向かう。夜更かしをせず良質の睡眠を確保する。朝ご飯をきちんと食べるなど、生活習慣を整え自分の健康と命を意識した生活を送ってください。自分の身体と仲よくして欲しいと思います。そして自分の身体を大切にすることは、必ず他人の身体と命も大切にできるはずです。仲間の心と身体を健康を気遣う人であってください。私達教職員もみなさんの安心安全な生活に全力を尽くしますが、みなさん自身も自分と仲間の人権を大切にするという意識を常に自覚してほしいと願います。

次に、蓼科高校で一生懸命学んでほしいということです。知識や技術を身につけることはもちろんですが、みなさんにはまず、学ぶ姿勢と方法をしっかりと身につけてほしいと思います。高校で学ぶ内容は社会に出てから直接生活の役に立つことが今すぐに実感できないものがあるかもしれませんが、しかしそのことを学ぶ過程で身につけた学びの方法は必ず役に立ちます。授業の中で先生や仲間のいうことをきちんと聞く姿勢。求められた課題を期日までにしっかりと完成させるプロセス。そういう基本的な姿勢をしっかりと身につけてほしいと思います。蓼科高校の教職員は授業の確かな技術を持ち、熱い情熱にあふれる先生方ばかりです。そういう先生にしっかりとくらいついて行ってください。

三番目は、あいさつをしっかりとしてほしいということです。それも家族、仲間同士、先生だけでなく、来校してい

るお客さんや通学途上で会う地域の人たちにまで、「おはようございます」「こんにちは」とみなさんから声をかけてほしいのです。音楽を聴いていたとしても、イヤホンを外して、その人と視線を合わせてあいさつをしてください。みなさんは一人だけでこの世界に存在しているわけではありません。みなさんは、家族や仲間という濃い関係の人たちから近所のおじさんおばさん、通りすがりの関係の薄い人までと出会うことによってはじめて自分が自分であることがわかるというような存在です。自分が「何者か」であるのは、「僕」や「私」以外の人たちとのつながりによってです。そのような人たちと出会っていく魔法のおまじないがこれらの「あいさつ」です。私も時間ができたら、昇降口に立って皆さんとあいさつを交わします。

最後になりますが、保護者のみなさま、本日はまことにおめでとうございます。我が子の成長に一喜一憂しながら、手塩にかけてお子さんを育てられたご苦労に思いをいたすと、高校での教育をつかさどる私ども教職員一同、改めて身の引き締まる思いです。精一杯の努力をいたす所存ですので、保護者のみなさまに置かれましても、お子さんが力強く未来を切り開いていくためにご理解とご協力を賜りたく存じます。

以上、入学式に当たり、皆様の充実した高校生活に思いをはせ、式辞といたします。

令和二年四月七日

長野県蓼科高等学校 校長 宮澤和人